

平成20年度

『家庭における省エネルギーの普及啓発事業』

はじめに

NACSでは講師派遣講座「家庭における省エネ講座」を身近なところで実施するという事業を、経済産業省及び省エネルギーセンターからの受託事業として昨年に引き続き受けることになった。地球温暖化の深刻な状況は各地からニュースとして報道されており省エネについての国民の関心はこれまでになく高いものとなっている。こうした社会的な背景も受けて、昨年の参加者1万人の省エネ宣言の実績を踏まえ今年度はNACSが700箇所、省エネルギーセンターが200箇所、5,000人の省エネ宣言を目指して実施することになった。

【事業目的】

地球温暖化防止策の一環として、国民一人ひとりが省エネルギーを自分の課題として考え、具体的に実践できるように消費者を啓発する講座を全国900箇所で開催する。講座の参加者に省エネ行動の決意表明として「省エネ宣言」をしてもらう。「省エネ宣言」2万5千人を目標とした。講座を開催するにあたり、講師の養成が重要であり、各地域が中心になり講師の養成を行い、その後講師が在住する地域や、職場、関係機関などへの働きかけを実施して講座を開催することとした。

【開催要領】

開催期間：2008年8月1日～2009年2月28日

開催場所：公民館などを利用

実施時間：1時間程度

参加人数：10名以上

参加対象：幼児から高齢者まで

家庭の省エネ講座実施概要

1. 「家庭の省エネ講座」実施の概要

「家庭の省エネ講座」は前述の講師養成講座に参加した者が働きかけをした行政、企業、消費者団体などの要請を受けて講座を実施した。講座では、NACS 作成のテキストを使用し解説をしていった。講師によりパワーポイント、ワークシートなどを使用し見やすく、参加型講座になるよう工夫をしている。講座開催時期とテキストとその他使用した資料は以下の通り。

講座開催時期	平成 20 年 8 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日
参加対象	10 人以上
参加費用	無料
テキスト	Stop the 温暖化
参考資料	家庭の省エネ大事典(省エネルギーセンター) 省エネ性能カタログ(資源エネルギー庁)など

この開催実施概要のまとめは、講座の開催回数、参加人数、アンケートの内容を分析したもので、開催件数と参加人数は実態に合せた数字になっている。

またアンケートは 2 万 5 千人の省エネ宣言という表題で収集したもので、回収アンケート数は 20,038 件、回収率は 79.0%であった。なおアンケート分析では、回収アンケートから 1 万 9,082 人抽出したものを分析している。

2. 「家庭の省エネ講座」参加状況

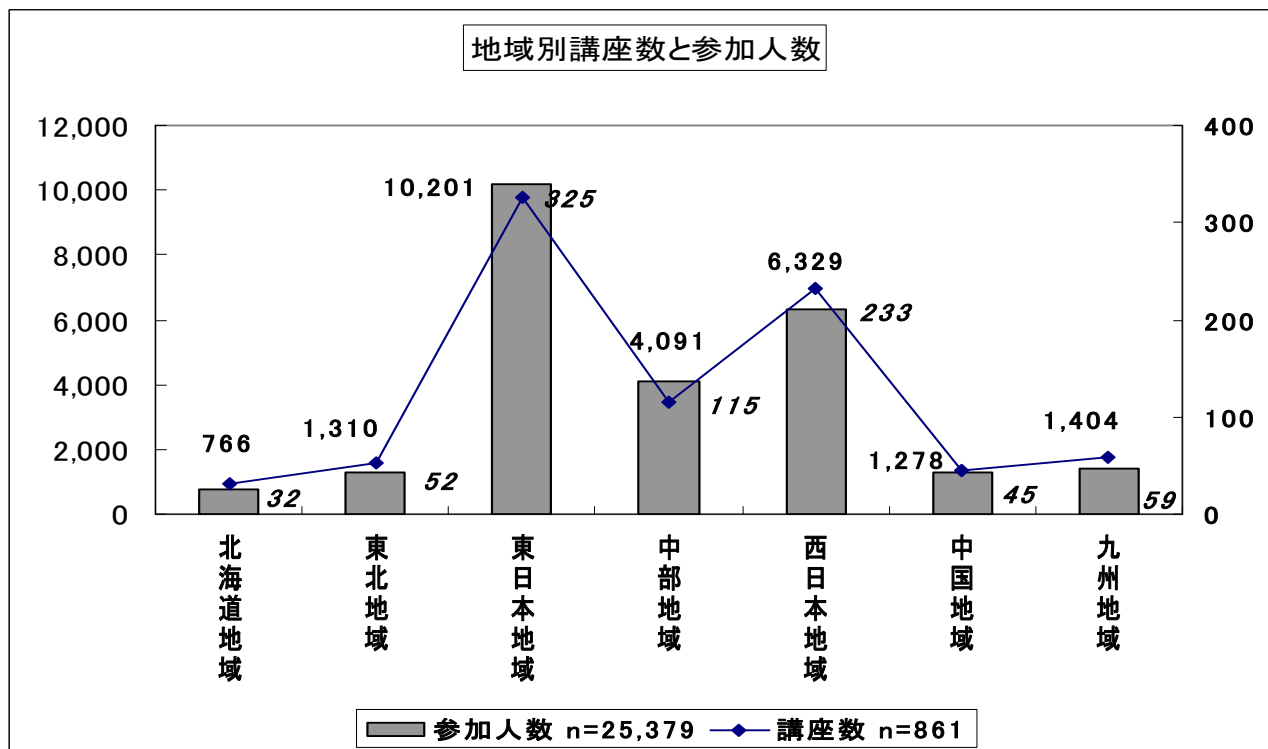
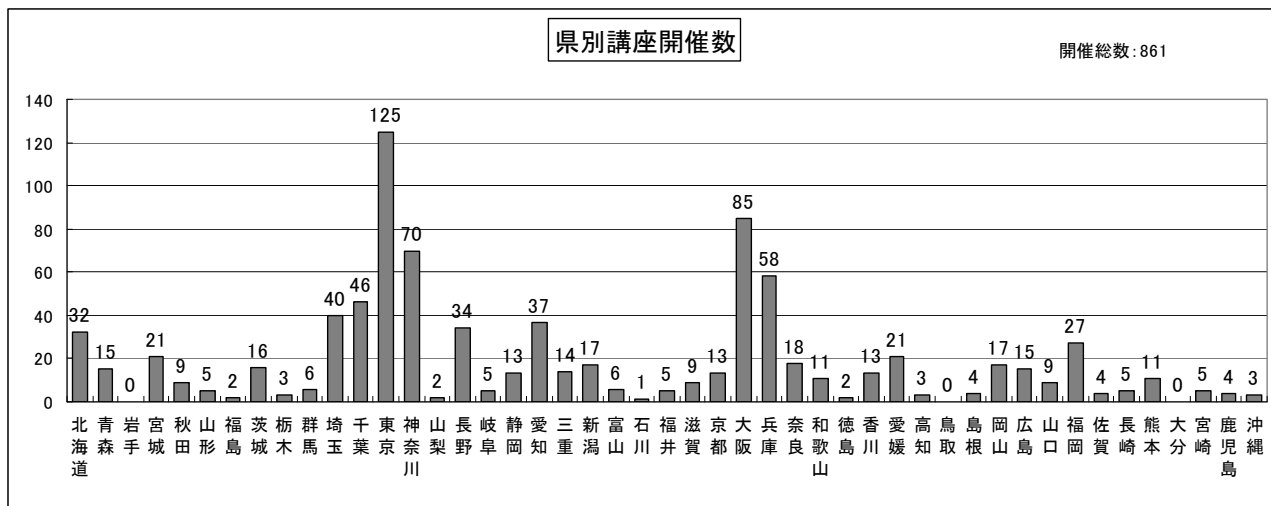
(1) 「家庭の省エネ講座」の開催及び参加状況

開催回数、参加者、アンケート回収一覧表

	講座数	参加人数	アンケート数
北海道	32	766	690
東北地域	52	1,310	1,019
東日本地域	325	10,201	7,734
中部地域	115	4,091	3,378
西日本地域	233	6,329	4,949
中国地域	45	1,278	1,060
九州地域	59	1,404	1,208
総計	861	25,379	20,038
アンケート回収率			79.00%

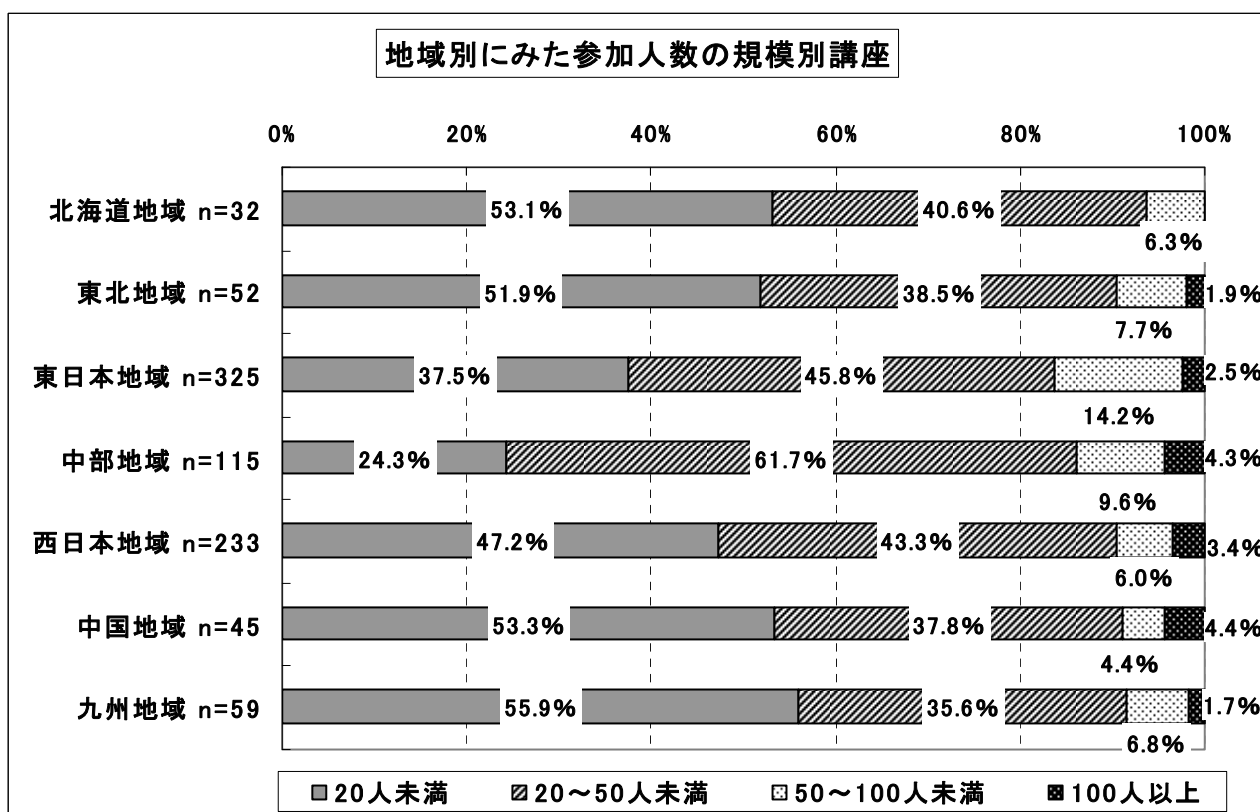
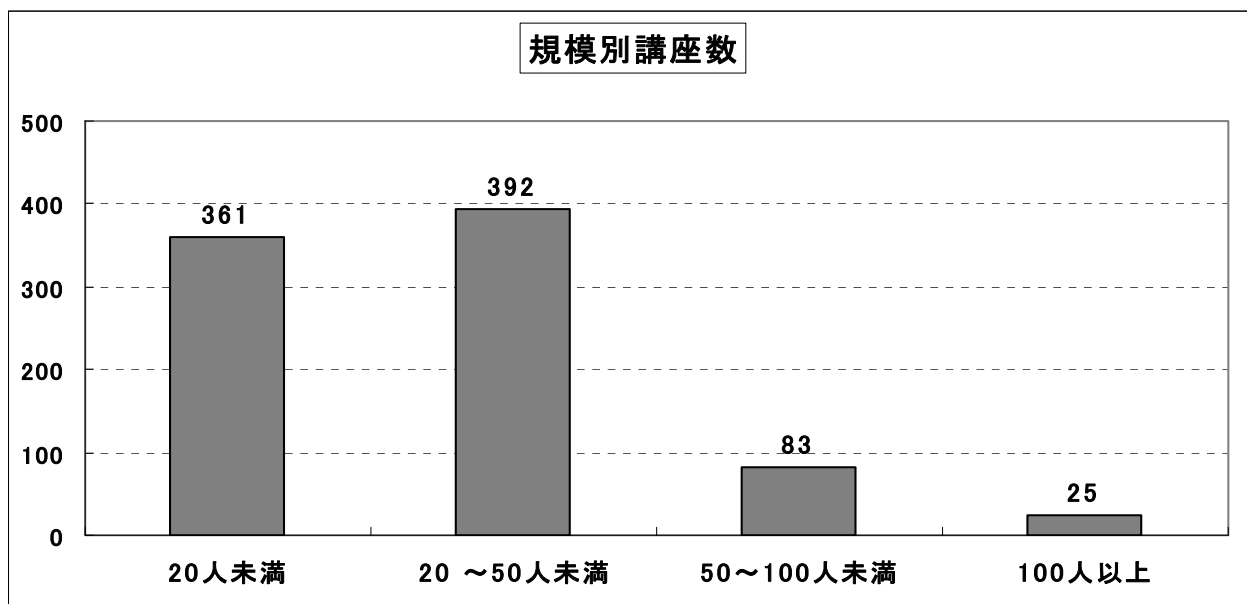
2009年度の「家庭の省エネ講座」は、全国7地域861箇所で開催し、総計25,379人の受講者の参加を得ることができた。うちアンケートに答えてくれた人は20,038人で、アンケート回収率は79.0%となっている。

(2) 県別（地域別）講座数



講座数を県別に見ると、一番多く講座が開催されたのが東京都(125講座)で、次いで大阪府(85講座)である。東京都を軸に神奈川県(70講座)、千葉県(46講座)、埼玉県(40講座)等の関東近圏と、大阪府を軸とした兵庫県(58講座)等の関西近圏での講座開催が中心になっている。このほか、中部地域でも115講座開催され約4,091人の参加者を得ている。とくに愛知県(37講座)、長野県(34講座)で多く開催された。

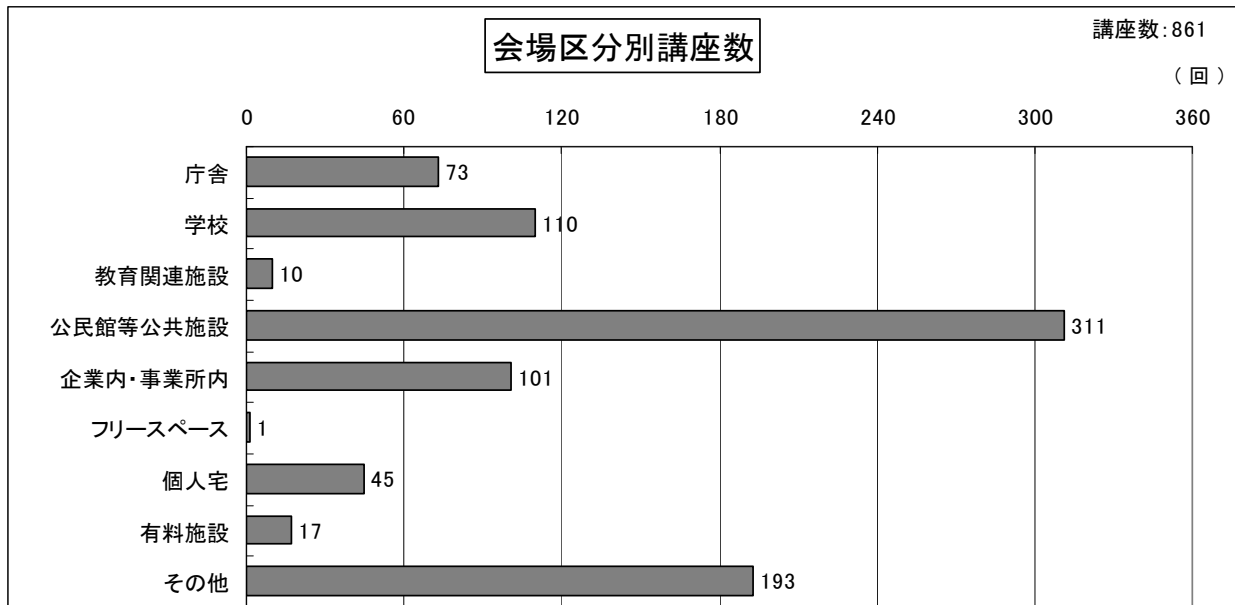
(3) 規模別講座数



全国 861 箇所で開催された講座を参加人数の規模別に見ると、「20 人未満」規模の講座 (361 講座) と、「20～50 人未満」規模の講座 (392 講座) が中心で、この 2 つで全体の約 9 割を占めている。「50～100 人未満」の講座も約 1 割 (9.6%) ある。

地域ごとの開催数にはばらつきがあるが、これを地域別に見ると、北海道、東北、西日本、中国、九州地域は「20 人未満」規模が半数を占め、東日本地域と中部地域では「20～50 人未満」規模で約半数を占めている。「100 人以上」規模の講座が多く開催されているのは中部、西日本、中国、となっている。

(4) 会場区別講座数



会場区別に講座の状況を見ると、「公民館等公共施設(311講座)」での開催が最も多く、「その他」での開催が193講座と続いている。地域の「学校(110講座)」や、「企業内・事業所内(101講座)」、地方地自体での「庁舎(73講座)」で開催された講座も多い。「個人宅」では45講座、開催されている。「その他(193講座)」は、福祉・高齢者施設にて施設利用者を対象に開催した講座、マンションの集会所にて住人を対象に開催した講座、幼稚園、児童館等にて母親を対象に開催した講座からレストラン、屋外、バスの中等非常に多様な場所が含まれている。

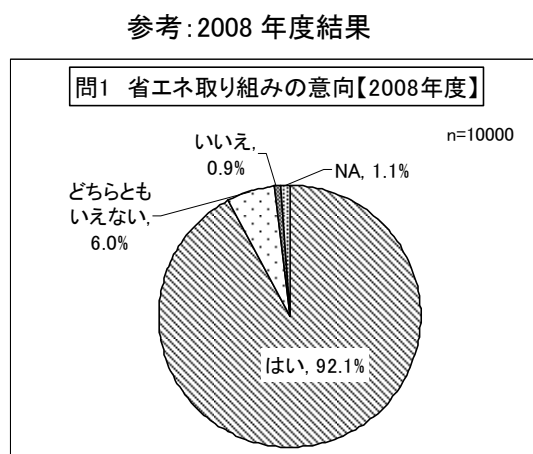
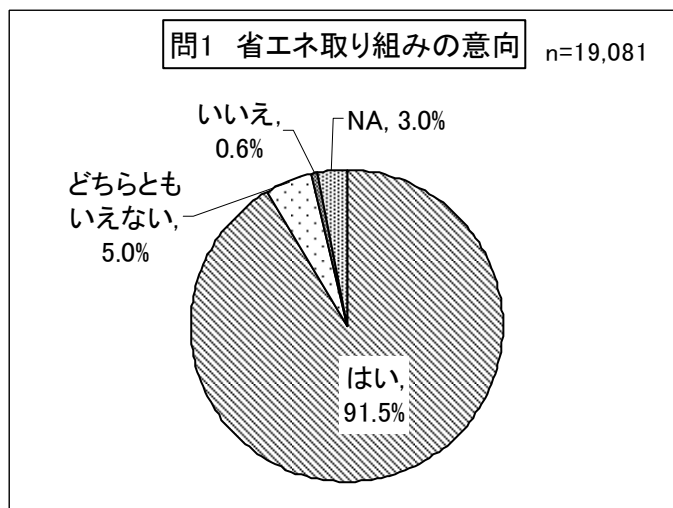
3. アンケート集計結果

省エネ講座で回収したアンケート 20,038 サンプルのうち、抽出した 19082 サンプルについて集計した。なお、無効票が1サンプルあり、実質集計数は 19,081 となっている。(956通は回収締切日以降に到着したため集計結果には含まれていない。)

アンケート回収数	集計用サンプル	無効票	実質集計数
20,038	19,082	1	19081

(1) 省エネ講座アンケート結果

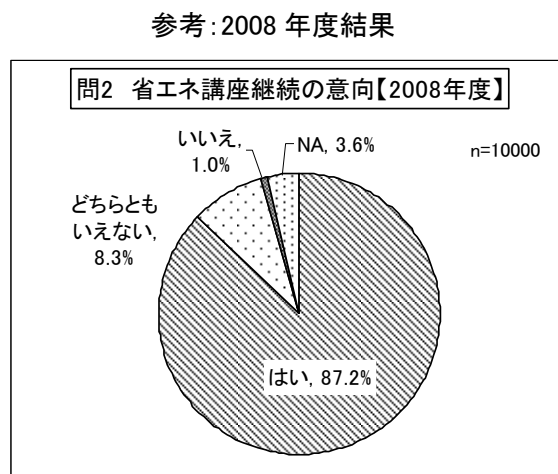
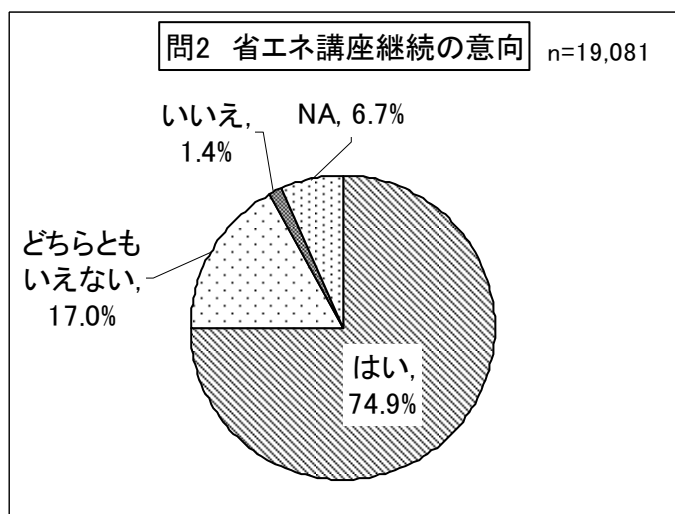
1) 今後、省エネへの取り組みの意向



問1 省エネ取り組みの意向	合計	構成比
1 はい	17,459	91.5%
2 どちらともいえない	948	5.0%
3 いいえ	111	0.6%
0 NA	563	3.0%
総計	19,081	100.0%

『今日の講座を聞いて自分も省エネに取り組んでみようと思ったか』、省エネへの取り組み意向を聞いたところ、「はい」と答えた人は 91.5%(17,459 人)でほとんどの受講者が、なんらかの省エネ行動をおこすことを考えている。この講座が省エネ行動への動機付けとなったことが裏づけられた。これは 2008 年と比べてみても、ほとんど変わらない結果となっている。

2) 今後の省エネ講座継続の意向

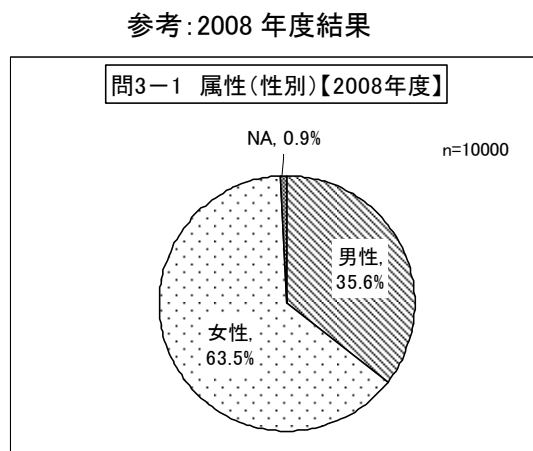
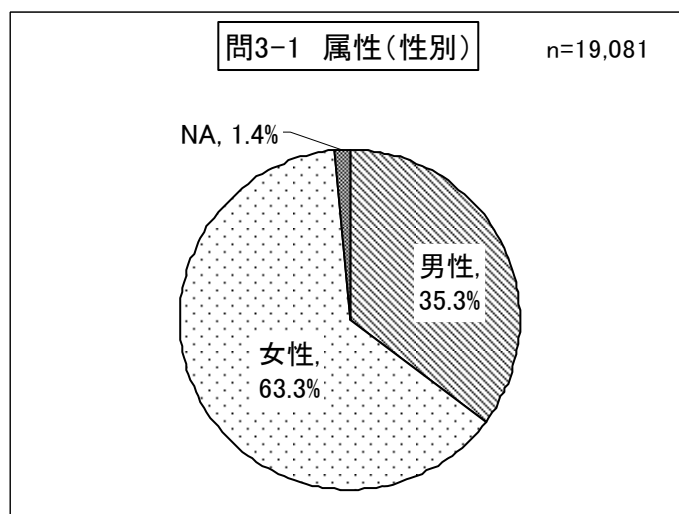


問2 省エネ講座継続の意向	合計	構成比
1 はい	14,297	74.9%
2 どちらともいえない	3,236	17.0%
3 いいえ	261	1.4%
0 NA	1,287	6.7%
総計	19,081	100.0%

『今回のような省エネ講座を、今後も継続してほしいかどうか』を聞いたところ、「はい」と答えた人が74.9%(14,297人)で全体の4分の3の人が講座の継続を望んでいるといえる。「どちらともいえない」が17.0%(3,236人)、「いいえ」と答えた人も1.4%(261人)いた。

この結果を昨年度と比べてみると、「どちらともいえない」と答えた人の割合が倍増している。これは今年度の省エネ講座は、参加者の60代、70代の高齢者の占める割合が、昨年度に比べ増えたことや、開催地が消費生活展などのオープンスペースで開催講座が増えたことで、講義をじっくり聞けなかったことなどの影響があったと考えられる。今後の対策として、高齢者向けに新たに分かりやすい講座プログラムを開発したり、なるべくじっくり聞ける講座室や会議室などで開催するなどの対応策を検討する必要がある。

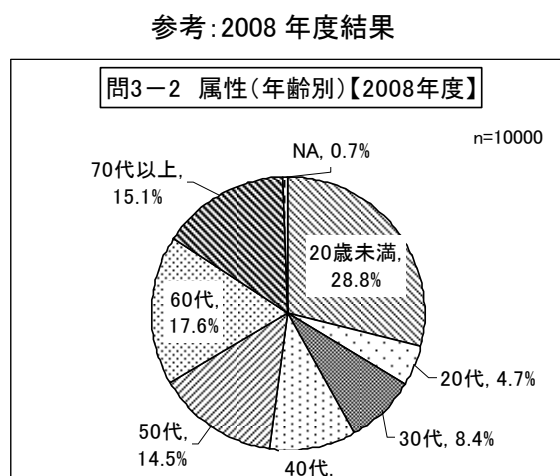
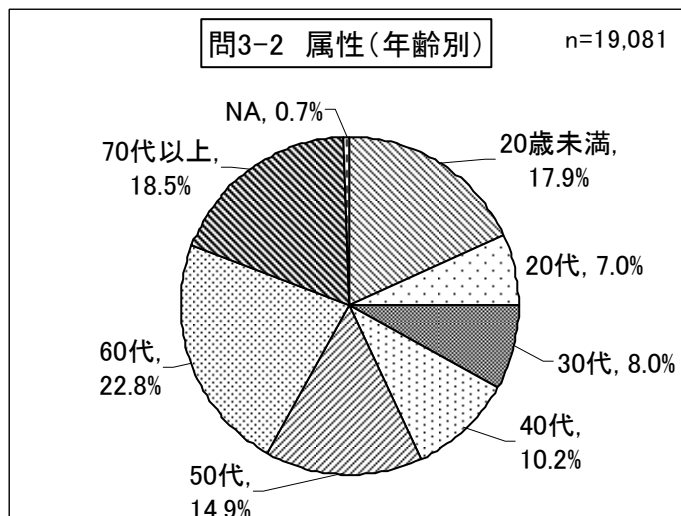
3) 受講者の属性（性別）



問3-1 属性(性別)		合計	構成比
1	男性	6,744	35.3%
2	女性	12,075	63.3%
0	NA	262	1.4%
総計		19,081	100.0%

省エネ講座の受講者を性別にみると、女性の占める割合が63.3%(12,075人)で、男性の占める割合(35.3%、6,744人)のほぼ2倍となっている。この割合は昨年度と同傾向である。「家庭の省エネ」と銘うっての講座のためか、女性の関心が高い傾向にある。

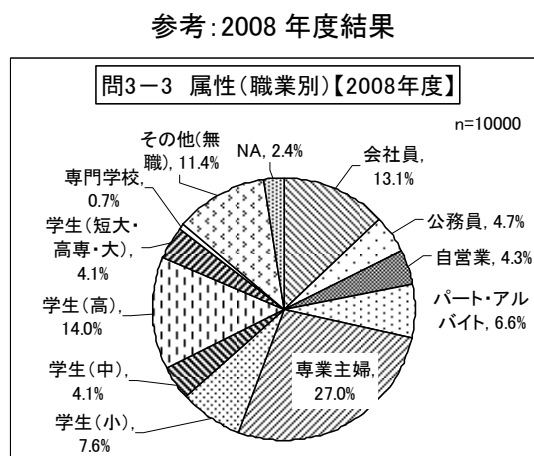
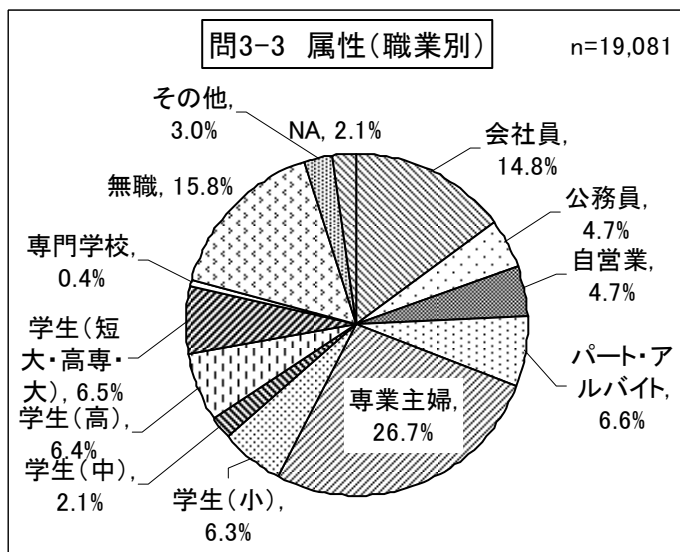
4) 受講者の属性 (年齢別)



問3-2 属性(年齢別)	合計	構成比
1 20歳未満	3,422	17.9%
2 20代	1,331	7.0%
3 30代	1,530	8.0%
4 40代	1,943	10.2%
5 50代	2,852	14.9%
6 60代	4,345	22.8%
7 70代以上	3,531	18.5%
0 NA	127	0.7%
総計	19,081	100.0%

省エネ講座受講者を年齢別に見ると、「60代(22.8%、4,345人)」の占める割合が最も高く、次いで「70代以上(18.5%、3,531人)」、「20歳未満(17.9%、3,422人)」、「50代(14.9%、2,852人)」と続いている。昨年度の結果と比べてみると、「20歳未満」の学生層の割合が減少し、「60代」「70代以上」の増加が目立っている。とくに今年度は、50代～70代以上の占める割合(56.2%)が、全体の半数以上となったのが特徴的である。

5) 受講者の属性（職業別）



問3-3 属性(職業別)	合計	構成比
1 会社員	2,818	14.8%
2 公務員	899	4.7%
3 自営業	891	4.7%
4 パート・アルバイト	1,253	6.6%
5 専業主婦	5,096	26.7%
6 学生(小)	1,195	6.3%
7 学生(中)	408	2.1%
8 学生(高)	1,214	6.4%
9 学生(短大・高専・大)	1,244	6.5%
a 専門学校	73	0.4%
c 無職	3,012	15.8%
b その他	572	3.0%
0 NA	406	2.1%
総計	19,081	100.0%

*2008 年度は「その他」の中に「無職」を含んでいる

省エネ講座の受講者を職業別に見ると、「専業主婦(26.7%、5,096 人)」の割合が最も多く、次いで「無職(15.8%、3,012 人)」、「会社員(14.8%、2,818 人)」となっている。

なお、今年度新たに起こした「無職」の割合が、昨年度の割合(2008 年度はその他に含まれている)に比べて大幅に増加しているのが特徴的である。2009 年度は新たな項目として、「無職」を起こしている。これにより、退職後何も仕事についていない高齢者で男性は、昨年は「その他」にチェックを入れていたが今年度は「無職」に回答できるようになったため増加している。

(2) 2万人の省エネ宣言 (抜粋)

省エネ講座を受講したあと、アンケートで宣言した「わたしの省エネ宣言」の中から、典型例あるいはユニークな「省エネ宣言」を約 100 サンプル、ランダムに抜粋した。

年代別に並べてみると、小学生、中学生、高校生を含む「20 歳未満」の世代の、個人生活に反映できる省エネ行動から、40～50 歳代の家庭生活の中の省エネ行動への提案、60～70 歳代の次世代に繋げていく気持ちを表した省エネ宣言など、それぞれがこの講座をきっかけに小さな一歩を踏み出した様子が伺える。

	わたしの省エネ宣言	性別	年齢
1	冷蔵庫 3秒ルールで 省エネするぞ！	女	20歳未満
2	省エネだ 家族とともに 楽しくね	男	20歳未満
3	省エネをして優しいよ 地球にね	女	20歳未満
4	優しいよ 省エネ生活 おサイフに	女	20歳未満
5	はじめよう 地球にやさしい 環境づくり	女	20歳未満
6	エコロジー 地球のために みんなでね	女	20歳未満
7	エコマーク たくさんあつめて エコはかせ	女	20歳未満
8	コンセント 抜けば削減 CO ₂	女	20歳未満
9	レイゾウコのとびらを小さく開けて、物を出すようにする。	女	20歳未満
10	買いものなどをするときは、ノーレジ袋を心掛け、環境に良いものを選ぶ。	女	20歳未満
11	いらないです その一言が 大切だ ※買い物をしたときなどに、不要な袋や割り箸などを断ることが省エネになるということ。	女	20歳未満
12	パソコンをつけっぱなしにしないようにする。パソコンに限らず、電気や水道の「～っぱなし」をやめる。	女	20歳未満
13	野菜や果物など、なるべく包装の少ないものを選ぶ。	女	20歳未満
14	食べ物をのこさない！食べれる分だけつくる！！	女	20歳未満
15	今日からリサイクルをいっぱいする。	女	20歳未満
16	自動車の運転の際、できる限りアクセルの回数を減らす。	男	20歳未満
17	いつも寝るときに携帯を充電したまま寝ていたけど、今度から寝る1時間前くらいに充電して、寝る前にはコンセントを抜くようにする。	女	20歳未満
18	・一人で出かけるときは、バスを使う。	女	20歳未満
19	・風呂の水を洗濯に使う。	女	20歳未満
20	家電製品を購入するときには省エネ対応のものを選ぶ。	女	20歳未満
21	移動は、自転車や公共の乗り物にする。	女	20歳未満
22	レジ袋の削減。TVをこまめに切る。	女	20歳未満
23	エアコンは夏は28℃、冬は20℃くらいにする。	女	20歳未満

	わたしの省エネ宣言	性別	年齢
24	残さずに 食べることから できるエコ	男	20代
25	だんらんが いちばんエコな 暖房だ	男	20代
26	料理で無駄なものをできるだけ出さないように工夫する。	女	20代
27	・カーシェアリングをする。	女	20代
28	・24時までには就寝する。	女	20代
29	冷蔵庫のつめすぎを気をつけます。洗濯の量も適正にしようと思います。	女	20代
30	牛乳のパックやトレーの回収など、身近なリサイクルをがんばる。	男	20代
31	「最新の 家電そろえて エコライフ」(希望の川柳です)	女	30代
32	アロマキャンドルで夜を楽しみながら節電。	女	30代
33	今もしていますが、マイバッグをもつての買い物や、回収可能なペットボトルなどの資源のリサイクル活動を継続します。	女	30代
34	食器を洗うとき、布などでさっと拭いてから洗う。そのための布を準備しておく。	女	30代
35	エコワットを購入して、我が家の消費電力量を調査し、大きなものから節電対策を行いたい。	男	30代
36	味噌汁やおでん等をたいた後、保温機能を使わずに新聞紙とバスタオルを鍋にまいて保温させる。	女	30代
37	断熱材(シート)をカーベット下に敷こうと思う。窓下のすきま風も防ぐシート等を使用したい。	女	30代
38	冷蔵庫の適正位置。水道管を少し、しめます！	女	30代
39	リサイクル できる限りは ゴミじゃない	女	40代
40	はじめよう 今日から今から リサイクル	女	40代
41	分別は めんどくさいより 未来への一歩	女	40代
42	やってみよう 小まめに消灯 わが家の節電	女	40代
43	「自家用車 無くても ポクの足がある」(自家用車をやめ、公共交通機関を利用する)	男	40代
44	祖母の知恵 伝えて守る 地球と家計 (ばっちり字余り)	女	40代
45	エアコンのコンセントを抜いたり、カーテンを厚くしたり、来年の夏には家で緑のカーテンを作りたいと思う。	女	40代
46	人感センサーなどを取り付けて(子どもが小さく点けばなしが多いため)こまめに電気を消せたらなと思います。	女	40代
47	住宅からの熱の逃げ道で、開口部の割合が高いので、ペアガラスを前向きに考えようかと思っています。	女	40代
48	今まで購入した家電製品が、どのくらい前のものか調べ、買い替えの検討もすべきかと思いました。	女	40代
49	ぜひラベルを見て省エネ対応のものを買おうと思います。まず電気屋さんでシール探しから。	女	40代
50	エアコンの設定温度をもう一度見直したい。	女	40代

	わたしの省エネ宣言	性別	年齢
51	冷蔵庫を壁から5cm程離す、冷蔵庫の上には物を置かない等。	女	40代
52	冷蔵庫にものを詰め込みすぎない。整理して開けたらすぐ、いるものが取り出せるようにする。	女	40代
53	マイバッグ持参。リユースビンの商品の購入。フードマイレージを考えて食料品を購入。	女	40代
54	エアコンの設定温度に気をつかう。	女	40代
55	省エネタイプを購入して、待機電力を減らす。	男	40代
56	家庭における居間を分割(アコーディオン等により)する。〈冷暖房の省略化〉	男	40代
57	子どもにエコ知識を持たせられるよう、日常生活の中で教育する。	女	40代
58	大変わかりやすく省エネについて考えさせられる講義でした。ありがとうございました。 ・まずは、今回の講座を参考に家族会議(5人)で省エネ勉強会を実施します。 ・そのうえで、家族一人ひとりが問題意識を持ち自発的に具体的な省エネ宣言をします。	男	40代
59	・私の省エネ宣言は、次の3点です。 ①20km以内の移動は車を使わず歩く。 ②20kmを超えてやむなく車を使用する場合でも、燃費6kmのワゴン車でなく、燃費12kmの軽自動車を使用する。 ③休日の風呂は日没前に入ることで、電気代を節約する。	男	40代
60	植物を利用して(あさがお、ゴーヤ)、夏の部屋の温度調節をする。	女	40代
61	省エネで 家族が集う ごはんどき	女	50代
62	退職後 私の夢は 省エネハウス	女	50代
63	見ないとき 使わないとき プラグを抜こう!	無回答	50代
64	省エネ料理に徹します!	男	50代
65	さあやるぞ エコ生活に まっしぐら	女	50代
66	ムダ切り スイッチ切り 贅沢切り	男	50代
67	・詰め替え用商品を購入するようにする。	女	50代
68	・できるだけ公共の交通手段を利用する。	女	50代
69	・夜は湯たんぽ使用。	女	50代
70	新築しましたが、省エネを配慮しました。太陽光発電、セルロース(断熱)、サッシ類。	女	50代
71	・レジ袋は貰わない。	男	50代
72	・休日は家族で同じ室屋で過ごす。	男	50代
73	自転車通勤、3年間やっています。今後も続けていこうと思います。	男	50代
74	グリーンコンシューマーの9原則を常に頭の中に入れておく。	女	50代
75	車のガソリンは満タンにせず、こまめに給油して車を軽くし燃費をよくする(いらぬ荷物をのせない)。	男	50代

	わたしの省エネ宣言	性別	年齢
76	夏の冷房、冬の暖房の部屋に家族が集まって過ごすようにする。	男	50代
77	マイ箸、マイ水筒など実行していますが、これからも意識的に家族ともども考えていこうと思います。	女	50代
78	極力楽しんで、省エネ生活しています。最初(始めた頃は)、スイッチ切り忘れなど多かったが、それも慣れ、家族全員でしています。	女	50代
79	電球を省エネに変えているが、電気系のものを少なくする。	女	50代
80	環境家計簿の実践。CO ₂ を削減と具体的な数値化する。	女	50代
81	お風呂は順番に間をあけずに入るように、入る前に湯を沸かす。	女	50代
82	オール電化なので、深夜電力をうまく使うように努力したい。	女	50代
83	冷蔵庫にカーテンをつけてみたい。	女	50代
84	温水器(給湯)の温度を下げる。	女	50代
85	トイレの水タンクにビール瓶を入れてみたい。今日聞いた事柄について、だいぶ気をつけていることがあった。	女	50代
86	オール電化にしたいが、先立つ物(お金)が必要だと思うのですが、具体的に示唆して欲しかったが、できるだけ省エネは現在しております。	女	50代
87	屋根のベンキを遮熱にしました。来年の夏が楽しみです(5℃違うとのことです)。	女	50代
88	・ポカポカスリッパの使用。 ・こたつの下に使っていない布団を敷く(マットの下)。	女	50代
89	・冷蔵庫内のカーテン。	女	50代
90	圧力鍋を買おうと思いました。買います。	女	50代
91	地産地消の励行。	男	50代
92	「省エネは地球を守る 第一歩」	女	60代
93	省エネの塵も積もれば山となる	男	60代
94	メーカー(価格)よりも省エネマークを見るわたし	女	60代
95	元気で動いて省エネルギー	女	60代
96	コツコツと省エネ対策 がんばろう	女	60代
97	孫のため 今日から始める エコ作戦	男	60代
98	不景気が 家庭省エネの 起爆剤	男	60代
99	エコロジー 今日から始めて エコのミー	女	60代
100	今日の話を家族にして、家電品の使用量を減らす。	女	60代
101	雨水を利用するため、雨水タンクを買う予定。	男	60代
102	太陽熱温水器を使ってみようと思います。(学生時代に家にありましたが、一時世間で下火になっていたと思います)	女	60代
103	すでに実施している。 ・省エネの電気製品の購入	女	60代

	わたしの省エネ宣言	性別	年齢
104	すでに実施している。 ・生ゴミは落葉、草などとサンドに(堆肥を作って利用している)。	女	60代
105	すでに実施している。 ・電気、ガスの使用状況をグラフにして提示(家族に知らせる)。	女	60代
106	外出のとき、30分前にストーブ、電気製品のスイッチを切る。	女	60代
107	待機電力を減らすために、リモコンを使わず主電源を切ったり、プラグを抜いたりしよう。	女	60代
108	食器洗いは32°Cで洗う。	女	60代
109	生ゴミは堆肥にする(20年以上前から)野菜を作る。	女	60代
110	・太陽熱温水器現在使用中。	男	60代
111	・太陽光発電設備の導入。	男	60代
112	・LEDの導入。	男	60代
113	最近、天ぷら油も捨てないで集める場所に持って行ってます。トレー、牛乳パック、ペットボトル、前からやっています。	女	60代
114	なるべく家にいる時間を少なくする。	女	60代
115	水の節約、ガスの節約、節電を心がけたい。	女	60代
116	常に「もったいない」の気持ちを持続していきたい。	男	60代
117	自らの生活面で省エネを取り込む意識を持ち実践することはもちろんのこと、「エコアクション21認証取得」を中小企業を中心にアピールする活動に参画する予定です。	男	60代
118	既に不使用コンセントを元栓からoff対応にしている(夏場の床暖房元栓etc.)。	男	60代
119	・掃除機 普通は弱に切り替えることにしている ・暖房機 セーター重ねて温度おさえている ・電気 まめに消す。60W→40Wに。徹夜しない。省エネタイプを買う。コンセントを抜く。 その他、日々の暮らしの中etc.	女	60代
120	フードマイレージを意識した食物購入。	男	60代
121	我が家ではブレーカーを落として必要な部屋だけ使用し、待機電力を少なくしております。ちなみに毎月の電気料金は3000円前後です。	女	60代
122	孫に教える省エネの心 地球長持ち 豊かな心	男	70代以上
123	子ども等が 帰れば下がる 電気代	女	70代以上
124	買い換える 予定のテレビは 五つ星！	女	70代以上
125	てくてくと 歩いて省エネ ダイエット！	女	70代以上
126	日だまりで 夫婦仲良く 脱CO ₂	女	70代以上
127	省エネは 小さな努力の 積み重ね	女	70代以上
128	・車利用を極力減らして自転車に。	男	70代以上
129	朝寝坊 省エネよと 女房言い	男	70代以上

	わたしの省エネ宣言	性別	年齢
130	省エネは 他人(ひと)にまかせず 自分から	男	70代以上
131	・電源をコンセントからプラグを抜くように心がける。	女	70代以上
132	・電気冷蔵庫の中の整理、温度調節に心がけたい。	女	70代以上
133	ソーラーパネル等を設置したい。	女	70代以上
134	古い衣料を手づくりで再生しています。	女	70代以上
135	生ごみを焼却に出さず、土に戻す。	男	70代以上

省エネ講座の風景

熊本講師養成講座



福岡県職員家庭の省エネ講座



東京都消費者月間 落語による省エネ講座



アンケートの自由記載(抜粋)

●受講者からの要望

○家電について

- ・省エネの新製品についてもっと知りたい。(70代男性 無職)
- ・家電製品のリサイクルについて知りたい。(40代女性 専業主婦)

○開催対象について

- ・いろいろな人の集まるところに話に行ってもらおう。(50代女性 非営利団体役員)
- ・幼稚園、小学、中学、高校、大学生に聞かせてほしいと思います。(50代女性 専業主婦)
- ・幼児・児童の時から学校のカリキュラムに入れて教えることが大切。(50代男性 公務員)
- ・学校でも親子の講座を開催して欲しい。(30代女性 専業主婦)
- ・若い人への啓蒙が必要！(60代男性 無職)

○テキスト等について

- ・省エネパンフレットの定期的な配布を希望します。(60代男性 自営業)
- ・小冊子を作っていただいて、日頃みられるように手元に置きたい。(40代女性 無職)
- ・アンケート用紙をもっと環境にやさしいものにしたらどうか？(10代男性 高校生)

○家電について

- ・省エネの新製品についてもっと知りたい。(70代男性 無職)
- ・家電製品のリサイクルについて知りたい。(40代女性 専業主婦)

○その他内容について

- ・男性や子供が実践できる省エネを知りたい。(50代男性 公務員)
- ・高齢者が自分で簡単にできる身近な省エネをもっと教えていただきたい。(70代男性 無職)
- ・一人一日1kgの省エネには何をどれくらい取り組めばいいのか具体的に知りたい。(60代女性 会社員)
- ・身近なエコ活動、省エネの工夫、アイデアを知りたい。(50代女性 会社員その他)
- ・今回のように家庭でできる省エネの具体例をもっと知りたい。(30代女性 会社員その他)
- ・新しい情報、最新のエコについて聞かせてほしい。(50代女性 専業主婦その他)
- ・資源ごみがどのように変化して使われているのか？(60代女性 専業主婦)
- ・食料にかかるエネルギー(地産地消)の講座がもっとあれば聞きたい。(60代男性 無職)
- ・食品のエコの話を知りたい。(60代男性 無職)
- ・ごみが減らせる節約料理、節電調理法を知りたい。(30代女性 会社員)
- ・次回は一つのテーマごとにもう少し詳しく聞きたい。(50代女性 会社員)

○その他内容について

- ・家を建てる時の省エネ建築にはどんなものがあるか？(60代女性 専業主婦)
- ・各国で成功している温暖化防止対策について(40代女性 会社員)
- ・地球温暖化の今後予想される環境への影響について。(30代男性 会社員)
- ・自然エネルギー(太陽光、風力、バイオマスなど)について知りたい。(60代男性 無職その他)
- ・原子力発電の電力コストについて知りたい。(60代男性 会社員)
- ・地域単位等ある程度広い範囲でのエコ方法について知りたいです。(20代男性 学生)
- ・地域でどんな取り組みをすればいいのか？(60代女性 自営業)
- ・各自の家庭での取り組みが地球を守ってゆくという意識を伝えて欲しいです。(30代女性 パート)
- ・環境家計簿のつけ方について知りたいと思います。(50代女性 自営業)
- ・間接的に使用しているエネルギーについてもっと知りたい。この点で二酸化炭素をもっと削減できるのではないか？(50代男性 会社員)
- ・時間が少ないように感じた。(30代男性 公務員)

●受講者からのご意見

- ・既に努力している。(50代男性 無職)
- ・話が長いと思います。(50代女性 専業主婦)
- ・これまでに知っていた内容であった。(40代男性 会社員)

●講師からの要望

- ・テキストのデータを最新のものにしてほしい。
- ・講座に来てくれないような人へ広めることが大事ではないか。